

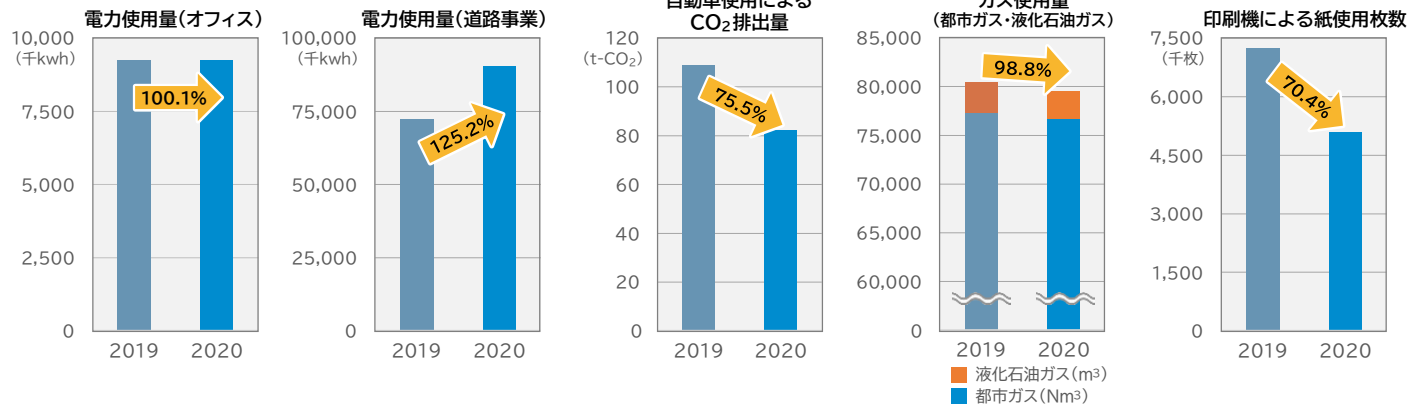
●環境実績 (2019～2020年)

阪神高速では、省エネルギー施策の積極的な実施による脱炭素化に取り組んでいます。
2020年度の実績及び2019年度との比較は次のとおりです。

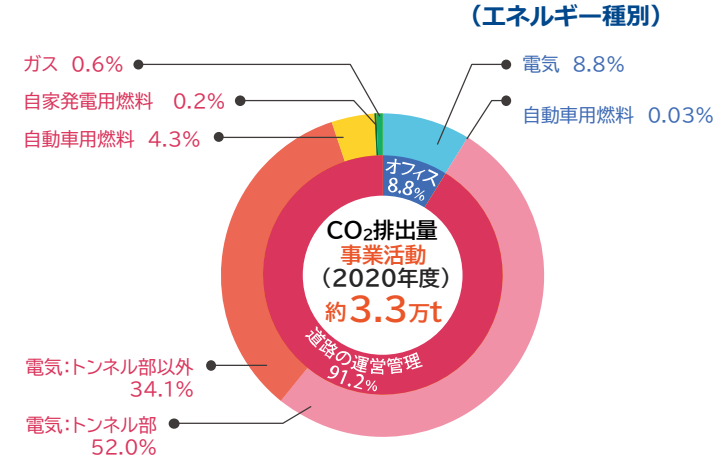
環境実績及び取り組みとその評価

項目	単位	2019年度	2020年度	前年度比		主な取り組み	主な増減要因
電力使用量(オフィス)	千kwh	9,232	9,245	0.1%増	→	・節電型オフィスへの移転 ・不要照明の消灯 ・エレベーター部分停止	前年度比微増となった 【主な要因】 ・不要箇所・不要時間帯の消灯実施による減 ・雪水対応等による増
電力使用量(道路事業)	千kwh	72,195	90,367	25.2%増	↑	・道路照明のLED化 ・設備更新時の節電型機器採用	前年度比増となった(供用関連を除くと電力使用量は約5%減) 【主な要因】 ・新規供用等に伴う増 ・道路照明のLED化による減 ・節電型機器採用による減
自動車使用によるCO ₂ 排出量	t-CO ₂	109	82	24.5%減	↓	・エコドライブの実践 ・環境配慮型車両導入 ・電動自転車の活用	前年度比大幅減となった 【主な要因】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による車両使用減
都市ガス使用量	Nm ³	77,302	76,667	0.8%減	↓	・ガス使用の節減	前年度比微減となった 【主な要因】 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う社屋内食堂営業休止による減
液化石油ガス使用量	m ³	3,010	2,708	10.0%減	↓		前年度比減となった 【主な要因】 ・ガス使用節減活動による効果
事業活動に起因するCO ₂ 排出量	t-CO ₂	28,776	33,375	16.0%増	↑	・道路照明のLED化 ・設備更新時の節電型機器採用 ・不要照明の消灯 ・エコドライブの実践	前年度比増となった 【主な要因】 ・新規供用に伴う電力使用量の増加による増 ・CO ₂ 排出係数の低下による減
印刷機による紙使用枚数	千枚	7,236	5,093	29.6%減	↓	・ペーパーレスの推進	前年度比大幅減となった 【主な要因】 ・ペーパーレスの推進による減 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による在宅勤務増による印刷減

実績グラフ



事業活動に起因するCO₂排出量の割合 (エネルギー種別)



今後も継続して省エネルギー施策の積極的な実施により、環境負荷低減による脱炭素化に取り組んでいきます。